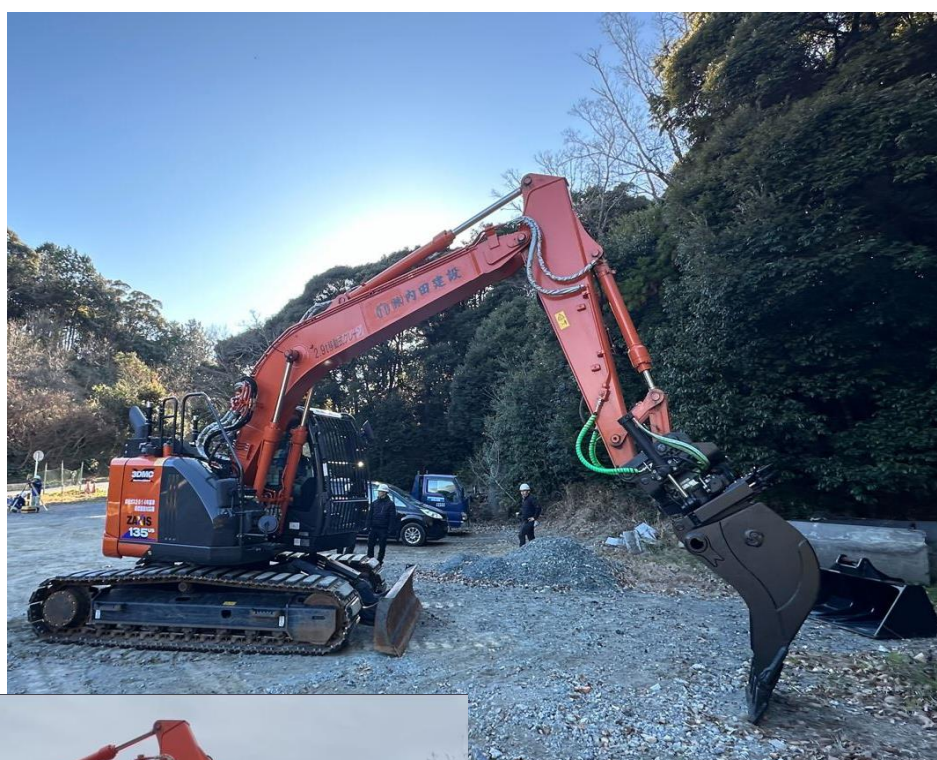


環境経営レポート

令和5年度

令和5年3月から令和6年2月まで



様々なバケットに付替えて、
あらゆる方向への自由自在な作業を
可能にする！CT対応ショベル

株式会社 内田建設

令和 6年 4月 1日作成

目 次

1	事業の概況		P1
2	環境経営理念		P2
3	実施体制		P3
4	環境経営目標とその実績		
	1. 環境経営目標（中期目標）		P4
	2. 令和5年度 環境経営実績		P5
	環境目標値と実績値の経年推移		P6
	購入電力量及び売却電力量、 太陽光発電量の経年推移		P7
5	環境経営計画		P8
6	取組結果と評価、次年度の取組内容		P9
7	環境関連法規等の遵守状況と違反・ 訴訟の有無		P10
8	代表者による全体の評価と見直し		P11

1 事業の概況

事業所及び代表者	株式会社 内 田 建 設	代表取締役 内 田 鉦 二																														
所 在 地	本社・事務所：静岡県袋井市久能2350番地の2 可 睡 作 業 所：静岡県袋井市久能2921番地の1																															
環境管理責任者及び 担当者氏名、連絡先	環境管理責任 松 浦 武 司 担 当 者 安 田 広 子 連 絡 先 TEL 0538-43-2855 FAX 0538-43-3936 Eメール uchida-k@mve.biglobe.ne.jp																															
事 業 内 容	★特定建設業許可 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業 舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業 解体工事業 建設許可番号 静岡県知事許可（特-4）第 1796 号 許可年月日 令和4年 6月30日 許可の有効期限 令和4年 6月30日から令和9年 6月29日まで ❀一般建設業許可 建築工事業、造園工事業、内装仕上工事業 建設許可番号 静岡県知事許可（般-4）第 1796 号 許可年月日 令和4年 5月31日 許可の有効期限 令和4年 5月31日から令和9年 5月30日まで																															
事 業 の 規 模	<table><tr><td>活動規模</td><td>単位</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>完成工事高</td><td>百万円</td><td>371.3</td><td>390.8</td><td>395.0</td><td>357.1</td></tr><tr><td>(内公共事業)</td><td>百万円</td><td>129.9</td><td>30.8</td><td>121.4</td><td>118.0</td></tr><tr><td>請負件数</td><td>件</td><td>204</td><td>173</td><td>162</td><td>117</td></tr><tr><td>従業員数</td><td>人</td><td>16</td><td>20</td><td>18</td><td>19</td></tr></table>		活動規模	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	完成工事高	百万円	371.3	390.8	395.0	357.1	(内公共事業)	百万円	129.9	30.8	121.4	118.0	請負件数	件	204	173	162	117	従業員数	人	16	20	18	19
活動規模	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																											
完成工事高	百万円	371.3	390.8	395.0	357.1																											
(内公共事業)	百万円	129.9	30.8	121.4	118.0																											
請負件数	件	204	173	162	117																											
従業員数	人	16	20	18	19																											
資 本 金	20,000千円																															
設 立	昭和46年 4月																															
認 証 ・ 登 録 範 囲	対 象 組 織：株式会社 内 田 建 設（全社で取得） 本社・事務所、可睡作業所 対 象 活 動：土木工事業、とび・土工工事業、石工事業 鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業 塗装工事業、水道施設工事業、解体工事業 建築工事業、造園工事業、内装仕上工事業																															



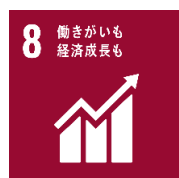
2 環境経営理念

I 基本理念

(株)内田建設は、地域に暮らす人々の生活の質の改善を目指し、より良い環境づくりの実現に、地域の人々と互恵協力体制の中で創り上げることに貢献します。

II 環境経営方針

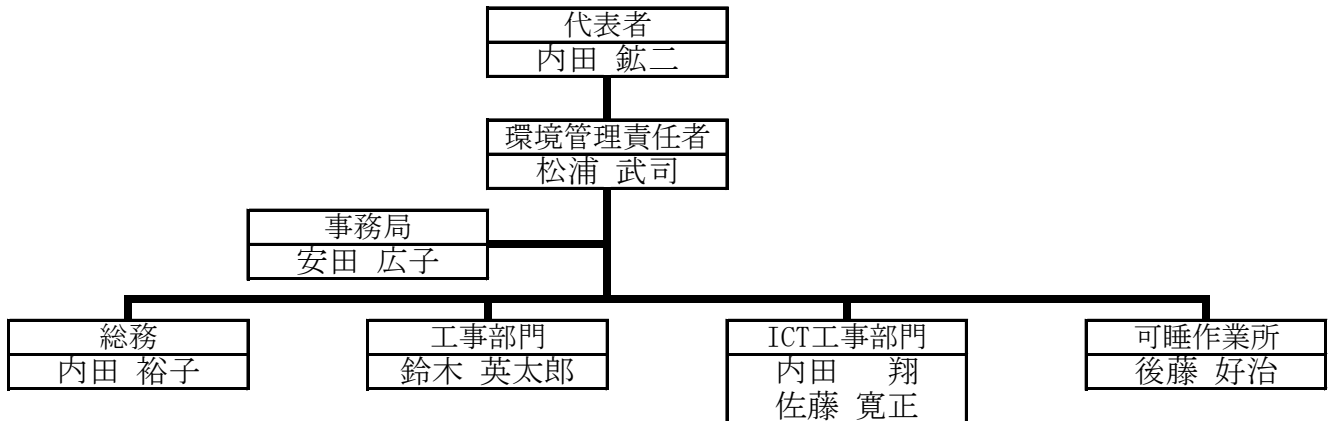
- 1 建設業を通して、環境への影響を考慮し、環境保全・地域社会との調和と共生のため、自治会活動等で行われる河川美化・道路愛護作業等に積極的に参加し地域の貢献に努めます。
- 2 事業活動に伴い技術的、経済的に可能な範囲で、自主管理目標を設定し、
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 建設副産物を含む廃棄物排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 環境に配慮した建設工事への取組 を行い、環境への負荷の低減に努めます。
- 3 環境に関連する法令・規則を遵守し、環境管理の維持・向上を目指し、環境の保全と地域社会との調和に努めます。
- 4 全社員が、環境に配慮した事業活動ができるよう、積極的に、また継続的に環境保全意識向上の教育に取り組みます。



改 訂 令和 6 年 4 月 1 日
制 定 平成 19 年 5 月 25 日

株式会社 内 田 建 設
代表取締役 内 田 鉦 二 ⑩

3 実施体制



＊ 実施対象サイト：袋井市久能地内にある(株)内田建設本社事務所及び可睡作業所

代表者の責務	①環境管理責任者を指名する。 ②環境方針（基本理念）を作成する。 ③行動指針（活動方針）を明示し、周知徹底を図る。 ④全体の取組状況を見て、信賞必罰を行う。 ⑤システムの見直しを行う。 ⑥資源（人材、資金、技術等）の準備をする。 ⑦効率的な実施体制の構築と全従業員への周知 ⑧経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者の責務	①環境活動のために必要な会議体を、実施体系図に基づき構成・設置する。 ②活動状況を把握し、定期的に代表者に報告する。 ③環境マネジメントシステム全体の構築、運用、維持をする。
総務担当責任者の責務	①環境管理責任者・事務局担当者と共に環境目標の設定をする。 ②事務局担当者を補佐し、会議体の全体の活動評価、目標の改善等を行う。
工事部門担当責任者の責務	①活動状況を把握して、現場担当者、作業員等に教育指導を行う。
ICT工事部門担当責任者の責務	①活動状況を把握して、現場担当者、作業員等に教育指導を行う。
可睡作業所担当責任者の責務	①無人になることもあるので、環境に配慮し、ゴミの削減、廃棄物量・総排水量の削減を目指し、作業員にも教育指導を行う。
事務局の責務	①各担当者の行動を補佐し、全体の運営に対し情報の整理等、環境保全に必要な事務全般を行う。

令和 6年 4月 1日 改訂

4 環境経営目標とその実績

設定日：令和5年3月1日

1. 環境経営目標（中期目標）							
		基準値(★)	令和5年度 (基準値比 -1%)	令和6年度 (基準値比 -2%)	令和7年度 (基準値比 -3%)	令和8年度 (基準値比 -4%)	
二酸化炭素排出量(※) (kg-CO2)	完成工事高 (百万円)当たり	453.98	449.44	444.90	440.36	435.82	
	実績	179,323	177,530	175,737	173,943	172,150	
	購入電力 (kWh)	実績	15,131	14,980	14,828	14,677	14,526
	軽油 (ℓ)	完成工事高 (百万円)当たり	144.55	143.10	141.66	140.21	138.77
		実績	57,098	56,527	55,956	55,385	54,814
	ガソリン (ℓ)	完成工事高 (百万円)当たり	28.44	28.16	27.87	27.59	27.30
		実績	11,235	11,123	11,010	10,898	10,786
	灯油 (ℓ) (✿)	実績	74	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
	LPガス (kg) (✿)	実績	94	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
	産業廃棄物排出量 (☆)	リサイクル率	99.90	100%を目指す	100%を目指す	100%を目指す	100%を目指す
一般廃棄物 (t) (✿)		実績	0.19	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
水使用量 (ℓ) (✿)	実績	89	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	
自らが施工する土木建築物等の 環境性能の向上及びサービスの改善		環境に配慮 した工事	実施に努める	実施に努める	実施に努める	実施に努める	

今年度より、新たな向こう4ヶ年の中期目標を設定し、環境活動に取り組んでおります。

★基準値は、令和4年度の実績としました。

○二酸化炭素排出量及び軽油・ガソリンについては完成工事高(百万円)当たりの値も併記しました。

✿灯油・LPガス・一般廃棄物・水使用量については、全体に占める割合が僅かであるため、また実績値の増減も僅かであることから、目標値は定めず、現状維持としました。

☆産業廃棄物排出量については、工事・工種の影響を大きく受けるため、目標値を設定するのは難しく、リサイクル率での目標値設定とします。

◎“化学物質使用量”につきましては、使用の実績がありませんので、目標は掲げません。

2. 令和5年度 環境経営実績

◎ 達成 △ 未達成

		基準値	目標値	実績値	基準値/実績値 (%)	評価	
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	完成工事高 (百万円)当たり	453.98	449.44	391.30	86.19%	◎	
	実績	179,323	177,530	139,734	77.92%	◎	
	購入電力(Kwh)	実績	15,131	14,980	13,326	88.07%	◎
	軽油 (リットル)	完成工事高 (百万円)当たり	144.55	143.10	118.36	81.88%	◎
		実績	57,098	56,527	42,267	74.03%	◎
	ガソリン (リットル)	完成工事高 (百万円)当たり	28.44	28.16	30.82	108.37%	△
		実績	11,235	11,123	11,007	97.97%	◎
	灯油 (リットル)	実績	74	現状維持	38	—	◎
	LPガス (kg)	実績	94	現状維持	76	—	◎
	排出廃棄物	産業廃棄物排出量 (☆)	リサイクル率	99.90	100%を目指す	100	—
一般廃棄物 (t)		実績	0.19	現状維持	0.19	—	◎
水使用量 (ℓ)		実績	89	現状維持	87	—	◎
自らが施工する土木建築物等の 環境性能の向上及びサービスの改善		環境に配慮 した工事	実施に努める	実施できた	—	◎	

※二酸化炭素排出量の算定は、鈴与商事(株)令和3年度実績の排出係数0.362kg-CO2を使用しました。

◎ ほとんどの項目において目標値を達成できました。工種や工事内容によって条件が変わるため一概には比較できませんが、積極的に新規の重機を取入れて環境負荷削減に取り組んだことも目標達成に繋がったと思われます。

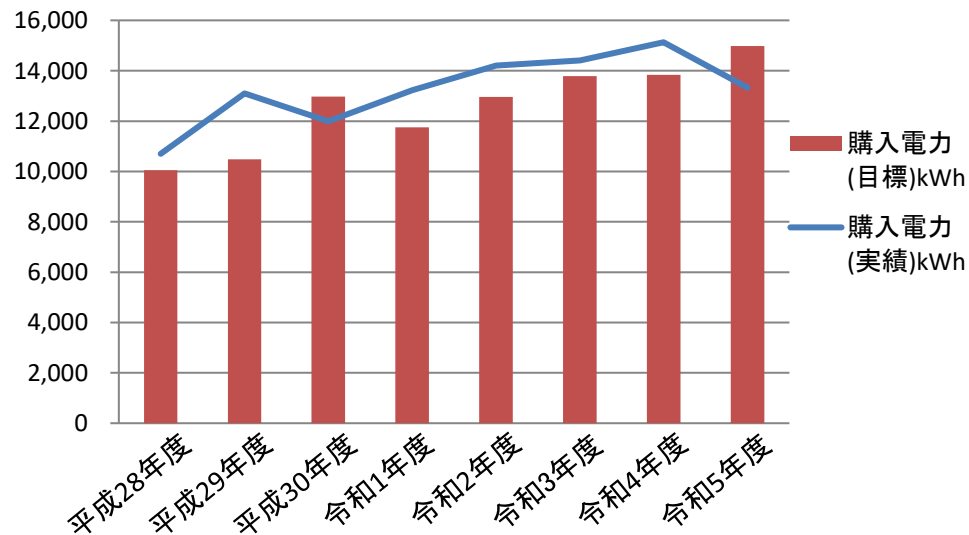
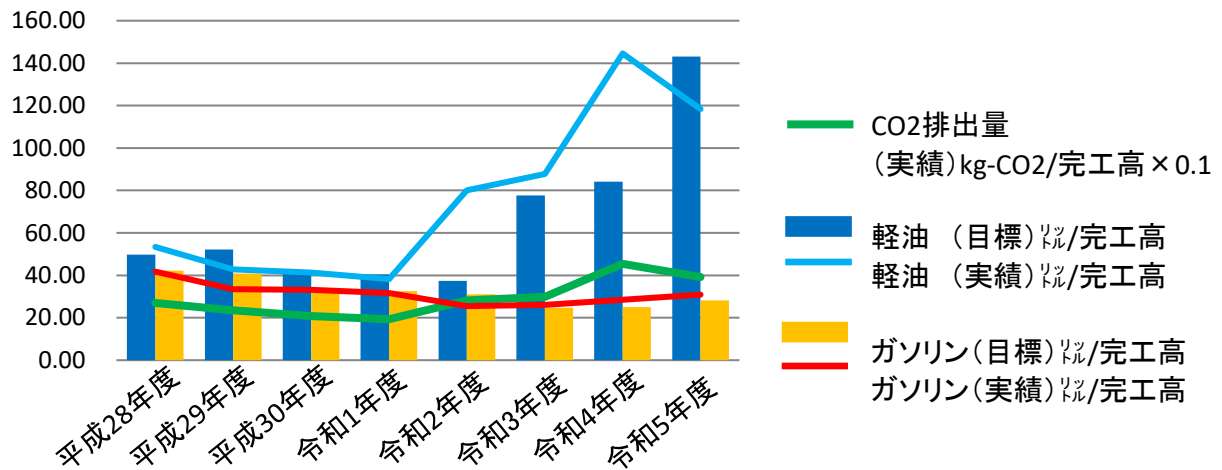
◎ 環境に配慮した工事においては、静岡県交通基盤部よりICT優良工事部門において『令和4年度(一)袋井小笠線道路改築工事(歩道工)』が表彰されました。
公共工事の多くの工事においてICT技術を駆使して効率化を図りながら、環境負荷を最小限に施工していることを評価していただいたことは、大変励みとなりました。

△ 唯一 ガソリンの完成工事高当たりだけが目標達成できませんでした。これは、市外の現場も多くなってきており、従業員の移動にかかる車両燃料が増えた為と思われます。
しかしながら、実績値においてはクリアできていますので、相乗りや使用車両のやりくり等、従業員の取組の成果だと思われます。

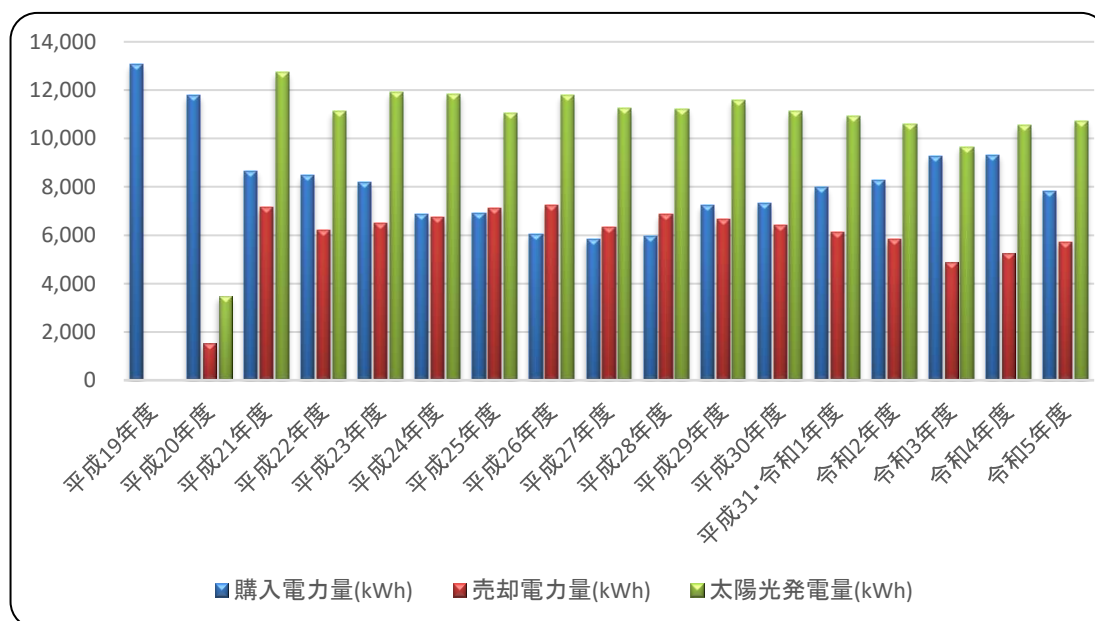
◎ “化学物質使用量”につきましては、使用の実績がありませんので掲載しません。

環境目標値と実績値の経年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
CO2排出量 (実績) kg-CO2	47,427	63,495	61,633	62,017	104,843	116,825	179,323	139,734
CO2排出量 (目標) kg-CO2	36,051	46,468	62,860	60,400	60,777	101,698	112,152	177,530
CO2排出量 (実績) kg-CO2/ 完工高×0.1	27.02	23.57	20.75	19.30	28.24	29.89	45.40	39.13
軽油 (実績) リットル/完工高	53.30	42.88	41.27	38.21	80.06	87.68	144.55	118.36
軽油 (目標) リットル/完工高	49.78	52.23	42.45	40.44	37.45	77.66	84.17	143.10
ガソリン (実績) リットル/完工高	41.73	33.50	33.15	31.68	25.49	26.07	28.44	30.82
ガソリン (目標) リットル/完工高	42.21	40.90	33.16	32.49	31.05	24.73	25.03	28.16
購入電力 (実績) kWh	10,700	13,100	11,994	13,225	14,207	14,412	15,131	13,326
購入電力 (目標) kWh	10,054	10,486	12,969	11,754	12,961	13,781	13,836	14,980



購入電力量及び売却電力量、太陽光発電量の経年推移				
	購入電力量 (kWh)	売却電力量 (kWh)	太陽光発電量 (kWh)	
平成18年度	11,322	—	—	
平成19年度	13,063	—	—	
平成20年度	11,776	1,518	3,476	10/16より太陽光発電稼働
平成21年度	8,667	7,142	12,744	
平成22年度	8,468	6,216	11,137	4/3よりソーラーパネルを10kWhに縮小
平成23年度	8,170	6,477	11,916	
平成24年度	6,855	6,740	11,843	
平成25年度	6,911	7,102	11,030	
平成26年度	6,044	7,241	11,783	
平成27年度	5,824	6,323	11,238	
平成28年度	5,949	6,842	11,231	
平成29年度	7,236	6,663	11,580	
平成30年度	7,333	6,409	11,113	
平成31・令和1年度	7,978	6,116	10,938	
令和2年度	8,294	5,823	10,611	12月下旬頃～1月末まで発電機能ダウン
令和3年度	9,287	4,878	9,642	5/7～6/11まで設備ストップ
令和4年度	9,329	5,230	10,549	
令和5年度	7,824	5,715	10,732	



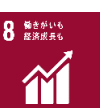
※太陽光発電の影響を受ける電灯電力についてのみ表示しました。
動力電力並びに資材置場にかかる電力量は含んでいません。

5 環境経営計画

取組項目	取組内容	責任者	取組日程			
			3～5月	6～8月	9～11月	12～2月
購入電力の削減 	ソーラーシステムの管理	安田	← エコナビットの定期的集計 →			
	エアコンの温度管理	内田裕		室内温度27℃		室内温度22℃
	照明の消灯	乗松	← 随時実施 →			
	パソコンの電源OFF	専務	← 随時実施 →			
軽油・ガソリン等の削減 	燃費の管理	鈴木	← 走行日報での管理 →			
	エコドライブの取組	安田	← 随時実施 →			
	軽油使用量の管理	松浦	← 随時実施 →			
	重機・車輛の点検整備	後藤	PC35MR、パワーゲート2tダンプ2台、テーター	0.7BH、0.15BH2台、4tユニック、ファミリアバン軽四2台、軽トラック	0.7BH、0.25BH、0.2BH、軽ダンプ、Wキャブ、ランサー2台	3tダンプ、軽トラック、キャラバン、ワゴンR
廃棄物排出量の削減 	コピー用紙の裏表使用	内田裕	← 随時実施 →			
	一般可燃ゴミの削減	内田裕	← 随時実施 →			
	産廃リサイクル率の向上	鈴木	← 随時実施 →			
節水への取組 	節水管理	安田	← 随時実施 →			
	漏水チェック	内田裕	← 検針票によるチェック →			
	資材置場の水道管理	後藤	← 随時実施 →			
環境に配慮した工事 	DX化への取組	専務	← 随時実施 →			
	低騒音・低排出ガス重機の使用	各担当者	← 随時実施 →			
その他の活動 	地域への貢献	社長	地域奉仕作業	河川美化作業 道路愛護事業		官民合同安全パトロール
	地域での活動	専務		袋井の花火協力 高校生バスツアー	地元大学イベント協力	



6 取組結果と評価、次年度の取組内容

取組項目	取組内容	令和5年度の評価		令和6年度の取組
購入電力の削減 	ソーラーシステムの管理	○	適切にデータ管理できた	継続
	エアコンの温度管理	○	習慣化されている	継続
	照明の消灯	○	LED照明への切替は来年度予定	継続
	パソコンの電源OFF	○	習慣化されている	継続
軽油・ガソリン等の削減 	燃費の管理	○	意識を持って取り組めた	継続
	エコドライブの取組	○	意識を持って取り組めた	継続
	軽油使用量の管理	○	意識を持って取り組めた	継続
	重機・車輛点検整備	○	点検・整備とにもよく実施された	継続
廃棄物排出量の削減 	コピー用紙の裏表使用	○	習慣化されている	継続
	一般可燃ゴミの削減	○	工程会議におけるペーパーレス化	継続
	産廃リサイクル率の向上	○	引き続き取り組んでいく	継続
節水への取組 	節水管理	○	意識を持って取り組めた	継続
	漏水チェック	○	定期的にチェックし問題なかった	継続
	資材置場の水道管理	○	問題なし	継続
環境に配慮した工事 	DX化への取組	○	県交通基盤部・ICT優良工事部門表彰を受けた（R4.袋井小笠線歩道工）	継続
	低騒音・低排出ガス重機の使用	○	現在所有のバックホ6台に加え、新たに低騒音・低排出ガスフルターダー、ホイローダー、0.5m ³ 級バックホの3台を導入し工事に活かした	継続
その他の活動  	地域への貢献	○	・3/16 地域奉仕作業（久能地内排水路浚渫） ・7/13 河川美化活動（沖之川/草刈り） ・8/24 道路愛護作業（市道村松上中村線/草刈り）	継続
	地域での活動	○	7/29 袋井の花火ドローン演舞への技術協力	継続
		○	8/21 高校生バスツアーへの協力	継続
		○	10/21 静岡理工科大学学園祭への出展	継続

7 環境関連法規等の遵守状況と違反・訴訟の有無

①環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認 令和6年4月1日

法規等の名称	適用内容・遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	収集運搬・処理委託業者との契約書の締結・保管 	遵守
	マニフェストの発行・管理及び保管	遵守
	マニフェスト交付状況等の報告	遵守
	廃棄物保管場所への掲示板の設置（60cm×60cm以上）	遵守
	多量排出事業者による産業廃棄物処理計画及び 産業廃棄物処理計画実施状況報告書	該当なし
資源有効利用促進法	パソコンの適正な廃棄処分	該当なし
建設リサイクル法	分別解体やリサイクルの義務	遵守
	再資源化に関する書面の交付	遵守
騒音規制法	特定建設作業の実施の届け出	該当なし
	規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の実施の届け出	該当なし
	規制基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	エアコンの適正な回収・リサイクル 	該当なし
	第1種特定製品についての冷媒漏えい検査（1回/3カ月）	遵守
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い、 自治体に登録された引き取り業者への廃車の引渡し	該当なし
浄化槽法	設置・廃止の届け出、定期清掃・保守点検の実施 	遵守
	指定検査機関による水質に関する定期検査	遵守
家電リサイクル法	指定家電品の適正な回収・リサイクル、費用の負担	該当なし
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	廃棄物処理の委託先の実地確認と記録の保存（5年間）	遵守
	産業廃棄物管理者の選任	遵守

②違反・訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

また、周辺住民からの苦情もありませんでした。

8 代表者による全体の評価と見直し

見直し 関連情報	項 目	確 認
	1 エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	☒ ほとんどの項目において目標達成できました。
	3 環境経営計画及び取組実施状況	☒ 継続して取り組みます。
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載しました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特に問題ありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 特に問題ありませんでした。
	7 取引先、業界、関係行政機関等の外部動向	☒ 特に問題ありませんでした。
	8 その他	☐

代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	2007年の5月に当社における環境経営理念を作成し当社ならではの基本理念、環境経営方針に従い、環境管理責任者、並びに担当者を中心にそれぞれのエコアクションについての活動に真摯に取り組んでまいりました。その甲斐もありまして 一定の成果を上げることが出来たのではないかと考えております。 しかしながら、建設業では2019年4月から、また我々のような中小企業には5年という猶予期間が設けられ、2024年4月からは建設業としての働き方改革がスタートすることとなりました。そのような中で労働時間の削減や有給休暇促進などに取り組むためには、伝統の技術だけに頼るのではなく I C T化・D X化など将来に向けて最新のデジタル技術の導入と最適な選択を行い建設事業の革新を進めていかなければならないと感じております。 そこで、当社におきましては、建設・測量・生産性の向上のため本年5月22日～5月24日迄千葉県幕張メッセで開催されますC S P I - E X P O建設・測量生産性の向上展にも社員全員で参加し、地方の建設業をリードしていくための充実した視察や研修を重ねていく予定であります。当社内におきましても I C Tアドバイザーによる基礎セミナー、技術セミナー、施工セミナー等を段階的に行っていき この先は、伝統的な技術を守りながらも現代の最先端技術を取入れまして、地方建設業のお手本となる企業を目指してまいりたいと考えております。		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・無	ガイドラインの要求事項4の内容に従って、“グリーン購入の推進”の記載を削除しました
	2 環境経営目標	有・無	ガイドラインの要求事項6の内容に従って、“環境に配慮した建設工事への取組”を追記しました
	3 環境経営計画・取組項目	有・無	
	4 実施体制（組織）	有・無	内部監査は行わないことから、削除しました
	5 その他のシステム要素	有・無	
	6 その他	有・無	
評価・見直し年月日		令和 6年 4月 1日	